

エコアクション21

活動期間（令和5年12月～令和6年11月）

環境経営レポート



令和7年3月1日

光安建設株式会社

目 次

1.	組織の概要	3 頁
2.	環境経営方針	5 頁
3.	環境経営目標	6 頁
4.	主要な環境経営計画	7 頁
5.	環境経営目標の実績	8 頁
6.	環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容	9 頁
7.	環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟の有無	11 頁
8.	代表者による全体評価と見直しの結果	12 頁
9.	次年度の環境経営目標及び環境経営計画	13 頁

1. 組織の概要

(1) 名称及び代表社名
光安建設株式会社
代表取締役 光安 昭典

(2) 所在地
本社 福岡県久留米市北野町赤司1858
大刀洗営業所 福岡県三井郡大刀洗町大字春日680
第3資材倉庫 福岡県三井郡大刀洗町上高橋1331-1

(3) 環境管理責任者氏名及び担当連絡先
責任者 常務取締役 光安 一英
担当者 常務取締役 光安 一英
連絡先 TEL 0942-77-2870
FAX 0942-77-1490
E-mail mitu-k.k@aroma.ocn.ne.jp

(4) 事業内容
特定建設業
許可番号 福岡県知事 許可(特-6) 第32231号
建設業の種類 土木工事業
建築工事業
大工工事業
水道施設工事業
舗装工事業
とび・土工工事業
解体工事業

(5) 事業規模

年 度	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度
売上高	266百万円	418百万円	481百万円
従業員数	17名	17名	19名
本社敷地面積	333m ²	333m ²	333m ²
営業所・工場敷地面積	6930m ²	6930m ²	6930m ²

(6) 事業年度
12月 ~ 翌年11月 決算

(7) 法人設立年月日
昭和48年 9月

(8) 資本金
2000万円

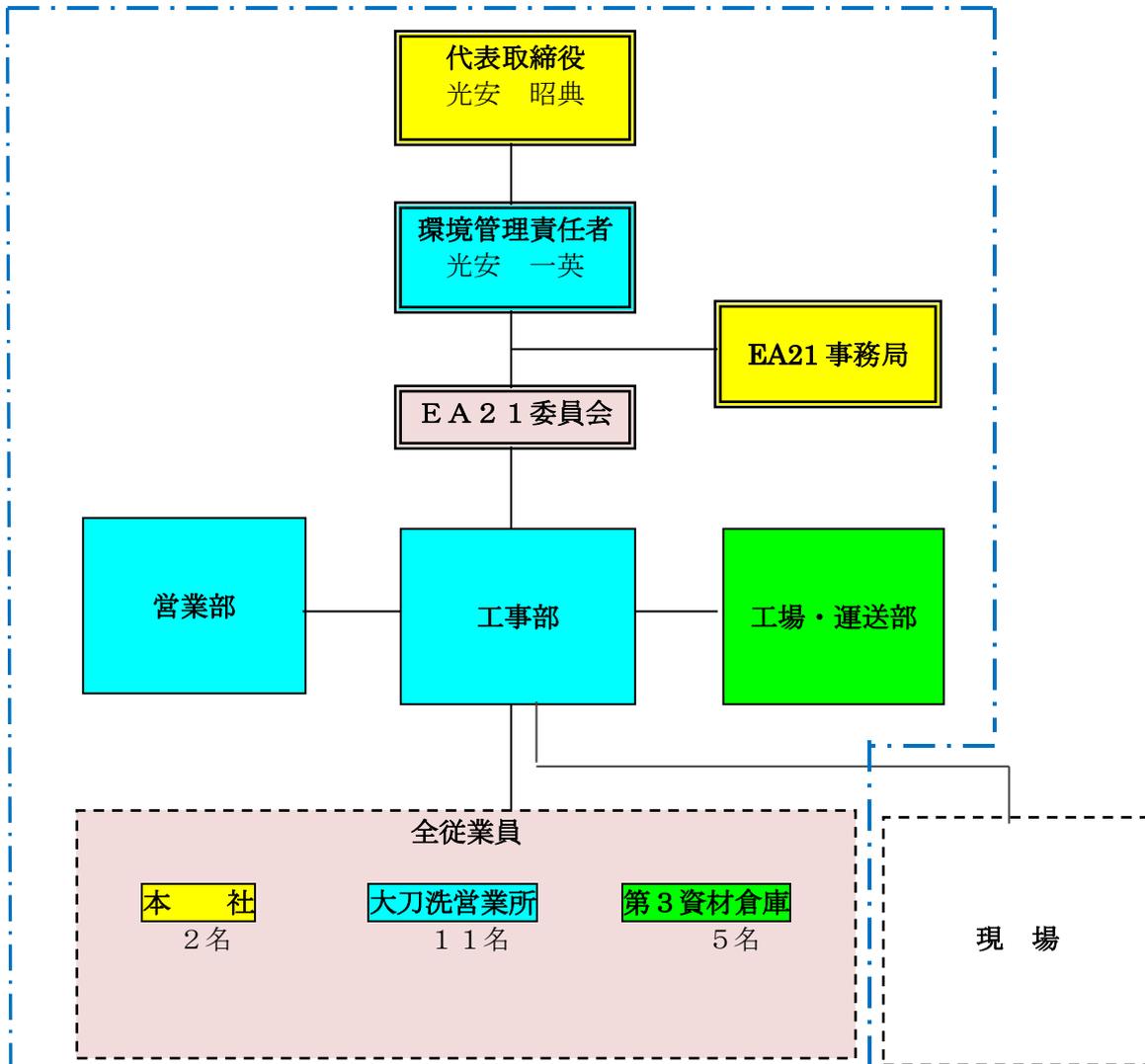
(9) 認証・登録の対象組織・活動

登録組織名：光安建設株式会社

対象組織：本社・大刀洗営業所・第3資材倉庫

事業活動：土木工事業
建築工事業
大工工事業
水道施設工事業
舗装工事業
とび・土工工事業

(10) 組織図（対象活動）



2. 環境経営方針

【企業理念】

当社は、原発事故を鑑みてエネルギーのあり方を考え直し、社員個々の英知と経営トップの強い決意により、省エネルギー企業となれるよう努力し、地球環境に配慮した事業活動を行なうと共に、環境経営の継続的改善を行います。

【環境基本方針】

1 次の事を重点項目として取り組みます。

- (1) 二酸化炭素排出量の削減
 - ・無駄な電力消費を積極的に見直して、二酸化炭素の削減に努める。
 - ・車輛のエコドライブの推進を行い、また車輛の買い換えに際しては、燃費の良いエコカーを積極的に購入検討します。
- (2) 産業廃棄物排出量の削減
 - ・再利用可能な製品を積極的に取り入れ、廃棄物については分別収集を徹底して、リサイクル可能な排出を行い、廃棄物の削減に努めます。
- (3) 水使用量の削減
 - ・節水に取組、地下水の利用を含む水資源の有効利用に努めます。
- (4) グリーン購入の推進
 - ・使用購入資源においては、グリーン購入・エコマーク商品購入を推進します。
- (5) 化学物質の管理
 - ・化学物質使用を把握して、適正な管理に努めます。
- (6) 環境に配慮した工事の推進
 - ・環境配慮工法の採用と、グリーン製品（建材）の購入使用に努めます。
- (7) その他の取組
 - ・地域社会への貢献と、環境保全活動に参加します。
 - ・社員及び、関係協力業者に周知徹底し、その活動を行いその結果をレポートして、提出し公表いたします。又、継続的改善に努めます。
 - ・事業活動においては、環境に配慮し環境関連法規とその規制を遵守します。

制定 平成 23 年 9 月 1 日

改定 平成 28 年 5 月 1 日

光安建設株式会社

代表取締役 **光安 昭典**

3. 環境経営目標

No	環境経営目標テーマ	担当部署	単位	基準値	初年度	2年度	3年度	
				(※2 参照)	(R6 年度)	(R7 年度)	(R8 年度)	
				実績値	目標値	目標値	目標値	
①	二酸化炭素排出量の削減	全体	kg-CO2	91,998	91,078 △1%	90,158 △2%	89,238 △3%	
		事業所	kg-CO2	64,189	63,547 △1%	62,905 △2%	62,263 △3%	
		現場	kg-CO2	27,809	27,531 △1%	27,253 △2%	26,975 △3%	
	電力使用量の削減	事業所	kWh	35,413	35,059 △1%	34,705 △2%	34,351 △3%	
		現場	kWh	0	0 △1%	0 △2%	0 △3%	
	ガソリン使用量の削減	事業所	L	2,906	2,877 △1%	2,848 △2%	2,819 △3%	
		現場	L	1,653	1,637 △1%	1,620 △2%	1,604 △3%	
	軽油使用量の削減	事業所	L	8,943	8,854 △1%	8,764 △2%	8,675 △3%	
		現場	L	16,886	16,717 △1%	16,548 △2%	16,379 △3%	
	②	廃棄物排出量の削減 一般廃棄物としての排出量削減	事業所	t	0.09	0.09 △1%	0.08 △2%	0.08 △3%
			現場	t	0	0 △1%	0 △2%	0 △3%
		産業廃棄物としての排出量削減	事業所	t	160	158.05 △1%	156.46 △2%	154.86 △3%
現場			t	0	0 △1%	0 △2%	0 △3%	
③		水使用量の削減 水使用量の削減	事業所	t	40	40 △1%	39 △2%	39 △3%
④	化学物質の管理 適時、使用品目と数量の管理 (対象 PRTR 対象物質 特定一種程度)	現場		適正管理	適正管理	適正管理	適正管理	
⑤	環境に配慮した工事の推進 環境配慮工法の採用と、グリーン製品(建材)の購入使用	現場		1 品目	1 品目	1 品目	1 品目	
⑥	その他の取組 教育訓練活動の実施 周辺環境美化活動 地域清掃活動への参加	事業所		1 回/年	1 回/年	1 回/年	1 回/年	
		事業所		2 回/年	2 回/年	2 回/年	2 回/年	
		事業所		1 回/年	1 回/年	1 回/年	1 回/年	

※1 ①②③の目標値は、基準年度実績値に対する削減率を示す。

※2 基準年度の実績値は令和 3～5 年度の実績値の平均値とする。

4. 主要な環境経営計画

取組目標	部署	活動項目
1. 二酸化炭素排出量の削減	a. 電気使用量の削減	事業所・現場 1 昼休み・退室時の電灯消灯の徹底 2 エアコン設定温度管理徹底 3 残業時間の削減検討 4 節電推進ポスターの表示 5 省エネ電灯商品への切り替え
	b. ガソリン・軽油・灯油使用量の削減	事業所 1 暖機運転を行わない 2 アイドリングストップの実施 3 急発進急停止をしない 4 燃費の良い車への買替えの促進
		現場 1 暖機運転を行わない 2 アイドリングストップの実施 3 急発進急停止をしない 4 通勤車輛は相乗りに勤め、ダンプ等現場に保管できる車輛は、通勤車に使わない 5 計画的な資材搬出入計画を立て無駄な運搬車を走らせない
2. 建設廃棄物量の削減・リサイクルの推進	事業所 1 材料の転用が効くような加工の工夫を行う 2 持ち帰った資材は整理仕分けを行い、廃棄物と再利用出来る物とに整理し、再利用を推進する 3 廃棄物となる物で受け入れ可能な物は、リサイクル工場に持ち込み処理を依頼する(木くず、鉄くず、紙等) 4 文書の電子化を進め、両面印刷を推進する、また裏紙利用を推進する	
	現場 1 材料の転用数が増えるような加工の工夫を行う 2 廃棄物となる物で受け入れ可能な物は、リサイクル工場に持ち込み処理を依頼する(木くず、鉄くず、コンクリがら、アスがら、残土、紙等) 3 分別収集を推進して、混載廃棄物の排出を削減する 4 文書の電子化を進め、両面印刷を推進する、また裏紙利用を推進する	
3. 水資源使用量の削減	事業所 1 節水を励行し、表示する 2 寮での水の使用量を減らす 3 洗車の際は水を出し放しにしない	
	現場 1 節水を励行し、表示する 2 洗車の際は水を出し放しにしない 3 雨水、地下水を利用する	
4. グリーン購入の促進	事業所 1 紙類でエコマーク製品を優先的に購入する 2 リサイクル製品の導入	
5. 化学物質の管理	現場 1 工事毎に、品目及び数量の把握を行い記録する 2 環境に負荷の少ない物への変更検討を随時おこなう	
6. 環境に配慮した工事の推進	現場 1 工事毎に事前施工検討会を行い環境に配慮した工事ができているか確認する。 2 環境に負荷の大きい工法については、工法の検討及び変更を考える。 3 環境に配慮した製品に変更可能な製品については、積極的に導入使用する。	
7. その他の取組 (環境保全取組実施の向上)	事業所 1 社員、協力会社への教育訓練指導の実施 2 事務所、工場周辺の草刈り清掃活動の実施 3 地域清掃活動への参加	

5. 環境経営目標の実績

No	環境目標テーマ	担当部署	今年度	今年度 取組実績				
			(R6年度)	目標／実績				
			目標値		上半期	下半期	通年	達成
①	二酸化炭素排出量の削減	全体	kg-CO ₂	実績値	52,917	40,376	93,293	×
			91,078.0	実施状況	116.2%	88.7%	102.4%	
		事業所	kg-CO ₂	実績値	13,187	13,279	26,466	○
			63,547.0	実施状況	41.5%		41.6%	
		現場	kg-CO ₂	実績値	39,730	27,098	66,827	×
			27,531.0	実施状況	288.6%	196.9%	242.7%	
	電力使用量の削減	事業所	kWh	実績値	18,415	17,878	36,293	×
			35,059.0	実施状況	105.1%	102.0%	103.5%	
	ガソリン使用量の削減	事業所		実績値	1,728	1,754	3,482	×
			2,877.0	実施状況	120.1%	121.9%	121.0%	
	現場	現場		実績値	1,052	1,484	2,536	×
			1,637.0	実施状況	128.5%	181.4%	154.9%	
軽油使用量の削減	事業所	L	実績値	776	873	1,650	○	
		8,854.0	実施状況	17.5%	19.7%	18.6%		
現場	現場	L	実績値	14,196	9,042	23,238	×	
		16,717.0	実施状況	169.8%	108.2%	139.0%		
②	廃棄物排出量の削減 一般廃棄物としての排出量削減	事業所	t	実績値	0.04	0.05	0.09	×
			0.1	実施状況	98.1%	111.4%	104.8%	
	現場	現場	t	実績値	0.00	0.00	0.00	-
			0.0	実施状況				
	産業廃棄物としての排出量削減	事業所	t	実績値	77.25	89.86	167.10	×
			158.1	実施状況	97.8%	113.7%	105.7%	
現場	現場	t	実績値	0.00	0.00	0.00	-	
		0.0	実施状況					
③	水使用量の削減 水使用量の削減	事業所	t	実績値	27.00	9.00	36.00	○
			40.0	実施状況	135.0%	45.0%	90.0%	
④	グリーン購入の推進 エコマーク製品の利用率を上げる	事業所	-	実績値	-	-	-	-
				目標値	-			
⑤	化学物質の管理 適時、使用品目と数量の管理 (対象PRTR対象物質 特定一種程度)	現場	適正管理	実績値	使用無し	使用無し	使用無し	-
				目標値	適正管理			
⑥	環境に配慮した工事の推進 環境配慮工法の採用と、 グリーン製品(建材)の購入使用	現場	1品目	実績値	無し	無し	無し	-
				目標値	1品目			
⑦	その他の取組 教育訓練活動の実施 周辺環境美化活動 地域清掃活動への参加	事業所	1回/年	実績値	無し	1回実施	1回実施	○
			2回/年	実績値	1回実施	1回実施	2回実施	○
		1回/年	目標値	1回/年			○	

※二酸化炭素排出量削減において、九州電力の調整後排出係数は、0.389kg-CO₂/kWh (R3年度九州電力)を使用しました。

※達成率は、((目標値-実績値) / 目標値) + 1) * 100で算出

6. 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

No	環境目標テーマ	担当部署	代表者による取組状況の評価と見直し結果					
			取組実績		達成率への評価		見直し結果	
			目標/実績	達成率	上半期(R5年12月～R6年5月)	下半期(R6年6月～R6年11月)		
①	二酸化炭素排出量の削減	全体	×	97.6%	令和5年度と比べ、6年度は完工高で2倍近くとなったことを踏まえると、現場の二酸化炭素排出量の達成率がまったく目標を達成できなかったのは、仕方ないことなのかもしれない。特に、陣屋川浚渫工事は、比重が大きい。しかしながら、型枠運搬などの計画的な搬入出作業の成果が、工事量に対しては、かなり抑制効果が出ているので、事業所としては大きく目標をクリアし、全体として98%と、ほぼ目標値をクリアできた。これが完工高を考えると十分評価できると考える。	今年から、第5次3か年計画としての1年目の成果となります。このところ、建設業界は熊本のIT関連工場は、物流業界の働き方改革による倉庫需要の拡大に支えられて、顕著に工事量、施工単価が向上しているのので、今期決算も例年より大幅に完成工事高を上げることができた。 このような中、EA21においての成果ですが、全体としては達成率97%となった。完成工事高は200%近く増えていことを考慮するとEA21に対する取り組み効果は上がっていると感じる。詳細については、マンション工事と物流倉庫基礎工事の大幅増による、材料転用率のアップ。また、型枠工事は、近場での工事が増えたことによる、燃料消費量の減少が効果的な削減に繋がったと考える。ただ、例年不規則になる公共工事の受注増による、軽油使用量の大幅アップが大きく影響し、全体では、目標値の79%に留まってしまった。 来期の完工高がどの程度伸びるか予測はつかないが、今期の削減要因を活用し、社員全員の意識改革をさらに進め、来期の目標達成に向けて取り組んでいく。		
		事業所	○	158.4%				
		現場	×	-42.7%				
		電力使用量の削減	事業所	×			96.5%	10%近く目標をクリアしている。加工場での機械工具の使用などを考えるとマンションや工場基礎の加工作業が減り、材料の転用率が上がっていることが、目標をクリアしたことに貢献していると分析する。今後もマンション、工場基礎を中心に、営業及び業務活動ができるよう、取り組みたい。
	ガンリン使用量の削減	事業所	×	79.0%	上半期のほうが土木工事が多く集まるため使用量が多くなる傾向にある。工事の受注の有無にも大きく左右されが比較的抑制できている		下半期は、夏中心となり、比較的目標値のクリアはしやすい。これは公共工事や型枠工事の受注量がすくなくなるためである。	
		現場	×	45.1%				
	軽油使用量の削減	事業所	○	181.4%	上半期、善道寺上高橋線工事や陣屋川浚渫工事の使用量が多く、全く目標をクリアできていない		現場使用料においては、土木工事が落ち着くので上期と比べると1/10程度の使用量となり、目標値はクリアできているが、通念としては上期の影響でクリアできなかった。	
		現場	×	61.0%				
	②	廃棄物排出量の削減 一般廃棄物としての排出量削減	事業所	×	95.2%		完成工事高から考えると、かなり削減出来ており、型枠のパネル使用による転用率が向上したと思われる。施工対象のマンション、物流倉庫基礎工事を主にするので、更に削減につなげていきたい。	左同
			現場	-				
		産業廃棄物としての排出量削減	事業所	×	94.3%			
			現場					
③	水使用量の削減 水使用量の削減	事業所	○	110.0%	寮入居者が2名減った影響かもしれないが、節水活動による成果か。目標値はクリアできた。			
④	グリーン購入の推進 エコマーク製品の利用率を上げる	事業所	-		大刀洗営業所の加工場照明をすべてLEDへ交換した			
⑤	化学物質の管理 適時、使用品目と数量の管理 (対象PRTR対象物質 特定一種程度)	現場	-					
⑥	環境に配慮した工事の推進 環境配慮工法の採用と、 グリーン製品(建材)の購入使用	現場	-		小型バックホウの購入で小規模工事に対応、移動時の利便性アップ			
⑦	その他の取組 教育訓練活動の実施	事業所	100%	防災訓練	交通安全講習や安全教育			
		事業所	100%	前面道路清掃①	前面道路清掃②			
	事業所	100%	筑後川清掃活動					
	事業所	100%						

代表取締役
光安 昭典

① 本年度特に環境へ配慮した事案

★春日倉庫の照明をLED化

② その他の取組

★教育訓練活動の実施

交通安全講習・安全教育・防災訓練の実施



★周辺環境美化活動

前面道路の除草作業2回



筑後川河川美化作業



7. 環境関連法規等の遵守状況の確認および評価の結果並びに違反、訴訟の有無

当社に適用される環境関連法規等の遵守状況を確認・評価した結果、該当する法規への違反は確認されませんでした。また、環境関連法規の遵守に関して、関係当局からの指摘や訴訟等は発生しておりません。なお、関係法規改定については、年度末に環境省 HP にて、環境管理責任者が確認を行う。

環境関連法規	要求事項
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	一般廃棄物委託基準の遵守
	産業廃棄物処理の業務
	事業者の運搬基準
	記載書面
	処理基準の遵守
	保管基準の遵守
	産業廃棄物の保管
	保管の届け
	許可業者への委託
	委託基準の遵守
	管理票（マニフェスト票）の交付
	管理票（マニフェスト票）の写しの保管期間
	管理票（マニフェスト票）に関する知事への定期報告
	管理票（マニフェスト票）の写しの送付を受けるまでの期間
	投棄禁止
焼却禁止	
建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律 （建設リサイクル法）	建設業を営む物の責務
	分別解体等の実施義務
	届出に係る事項の説明義務
	請負契約に係る書面の記載事項
	再資源化の実務義務
	発注者への報告等
	下請負人に対する元請け業者の指導
騒音規制法	特定施設の設置の届出
	上記規制基準の遵守
	特定建設作業の事前届け出
	上記規制基準の遵守
振動規制法	特定建設作業の事前届け出
	上記規制基準の遵守
特定特殊自動車排出ガスの規制等に関する法律 （オフロード法）	使用の制限
	適応除外
	特定特殊自動車を業として使用する者が守るべき指針
フロン排出抑制法	簡易点検の実施
	フロン引き渡し
	フロン類の放出禁止
特定家庭用機器再商品化法（家電リサイクル法）	事業者及び消費者の責務
	料金の請求
使用済自動車の再資源化等に関する法律	使用済自動車の引き渡し義務
	再資源化預託金等の預託義務

8. 代表者による取組状況の評価と見直し結果

記録その1: 評価及び見直しに必要な情報(環境管理責任者) 記録日: 2025年2月1日

	環境目標	環境目標の達成状況	環境活動計画の実施状況	コメント
環境目標の達成状況・環境活動計画の実施状況	二酸化炭素排出量の削減	△	○	売上高が増えたこともあり、ほぼ目標値はクリアできなかった。今後も計画的受注を可能な限り続けていきたい。
	廃棄物排出量の削減	○	○	転用率が上がっている
	水使用量の削減	○	○	寮生の数が減り、活動の理解が進んだ
	化学物質の適正管理	-	-	使用なし
	グリーン購入の推進	-	-	エコマーク購入なし
	事業活動における環境配慮の推進	○	○	照明のLED化を行った
	環境関連法規等の遵守状況のチェック結果	問題なし		
外部からの苦情等の受付結果	受付なし			
前回の代表者の指示事項とその取組結果	なし			
その他(前回の審査での指摘事項の改善結果、その他改善への提案)	なし			

記録その2: 評価及び変更の必要性と指示(代表者) 記録日: 2025年2月1日

環境経営システムが有効に機能しているか	2ヶ月に一度EA21委員会を開催して、有効な意見は経営システムにフィードバックしていける体制を作っている。マンション工事と物流倉庫基礎工事の大幅増により材料転用率が向上しているので来期も取り組んでいく。
環境への取組は適切に実施されているか	実行性の有る物は、実行している。
環境方針 変更の必要性(○有 ●無)	[変更の必要性がある場合は有に●を付けて、その指示事項を記載する] 無し
環境目標・環境活動計画 変更の必要性(○有 ●無)	[変更の必要性がある場合は有に●を付けて、その指示事項を記載する] 無し
その他の環境経営システムの要素 変更の必要性(○有 ●無)	[変更の必要性がある場合は有に●を付けて、その指示事項を記載する] 無し
○取組の対象組織・活動の明確化 ○環境負荷の把握・評価 ○環境関連法規等の取りまとめ ○実施体制の構築 ○教育・訓練の実施 ○環境コミュニケーションの実施 ○実施及び運用 ○緊急事態への準備及び対応 ○環境文書及び記録の作成・管理 ○取組状況の確認及び評価	

9. 次年度の環境経営目標及び環境経営計画

(1) 環境経営目標

今期の見直し内容を考慮しつつ、令和7年度の目標は、当初予定どおり設定する。

(6P参照)

(2) 環境経営計画

今期の見直し内容を考慮しつつ、今期の経営環境計画同様に計画する。

(7P参照)